

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2012年3月★第97号

「GO!GO!仙台89ERS!!ECOスクール」開催

日時：1月28日（土）

場所：仙台市体育館

エコシティ仙台プロデュースプロジェクトで「GO!GO!仙台89ERS!!ECOスクール」を開催しました。小学生の親子と一緒にエコなお話と環境に配慮した“無限のぼり米”を使用した「8.9mの恵方巻き」作りとゴミ分別のエコステーション見学・体験をしました。



8.9mの恵方巻き



最後に修了証を贈呈し、選手と共に記念写真を撮りました。

参加者の感想には「とてもきれいに分別されていて、自分も家庭で実践してみようと思います。」「ペットボトルのキャップ・ラベルをはがすようになりました」との声がありました。

4月15日（日）にも、お花のよせ鉢作りとエコステーション見学体験を行います。

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. 「GO!GO!仙台89ERS!!ECOスクール」開催
- P2. 20年を振り返ってみませんか？
「セヴァンの地球のなおし方」上映会開催
- P3. 一地産地消で地元の復興応援！
- P4. MELONcafe プチ講座
かんきょう読み聞かせ「ラシーヌおじさんとふしぎな動物」
- P5. 協同組合のコーナー
50人リレートーク 菅原正徳さん
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7. ウォームビズウェブサイト
「今日からはじめる あたたかいくらし」
3R・低炭素社会検定試験を実施しました！
MELON生き物調査「セミのなき声調査」レポート
- P8. 投稿、イベント一覧、編集後記

20年を振り返ってみませんか？ 「セヴァンの地球のなおし方」上映会開催

日時／場所：1月13日（金）17：30～20：30／エル・パーク仙台 スタジオホール
1月18日（水）11：30～13：30／旅カフェサマルカンド

皆さんは「セヴァン・カリス＝スズキ」という女性をご存知ですか？今から20年前の1992年、リオデジャネイロで国連の「地球サミット」が開催されました。12歳だったセヴァンは子どもの環境団体の代表としてサミットに参加し、大人たちの前で子どもの視点から環境問題についてのスピーチを行いました。

—どうやってなおすのか分からないものを、壊し続けるのはもうやめてください—

大人たちに環境破壊を止めるように訴えかけた彼女のスピーチは、多くの人々の心に衝撃を与え、今では“伝説のスピーチ”と呼ばれています。

そんなセヴァンも母親となり、現在も未来の子どもた

ちのために訴え続けています。そんなセヴァンの姿や彼女の声に呼応して日本とフランスで行動を起こしている人々の活動を追ったドキュメンタリー映画「セヴァンの地球のなおし方」。今回 MELON 情報センターではその映画の上映会を開催しました。

13日には、「エコでつながる世界」と題し映画上映会を行いました。後半には、海外経験のある方を交えたグループトークの時間を設け、参加者全員で世界の暮らしの中でのエコについて共有しました。会場の後方には写真家・遠藤秀一さんのツバルの写真を展示し、地球温暖化で最初に沈むと言われているツバルからのメッセージを伝えました。18日はお昼ご飯を食べながらのランチ映画上映会の形式で、映画の後には20年前の“伝説のスピーチ”も上映しました。子どもを持つお母さんを中心に、セヴァンのメッセージは心に響いたようでした。

MELON が設立されるきっかけとなったのも1992年のリオデジャネイロでの地球サミットでした。環境問題の取り組みで世界の大きな一歩となった1992年の地球サミットから20年目を迎える今年、「リオ+20」と呼ばれる国連持続可能な開発会議が再びリオデジャネイロで開催されます。MELON から現地派遣を予定しており、現在計画進行中です。

20年間で悪くなったこともありますが、確実に人々の意識は変わり始めています。環境やエコを耳にしない日はありません。節目を迎える今年、行動で示す時期に来ているのかもしれませんが、セヴァンのスピーチを思い返し、新たな気持ちで生活していきたいですね。



13日の上映中の様子



海外経験を交えてのフリートーク



ランチを食べながら見入るみなさん

— 地産地消で地元の復興応援！ —

地産地消のお酒「一ノ蔵」と「ふゆみずたんぼ」の見学

日時：1月17日（火）9：30～16：00
見学場所：株式会社一ノ蔵本社工場（大崎市松山）
ふゆみずたんぼ（大崎市田尻）
参加者：16名

MELONの地域開催講座として、食育NPOおむすびさんが企画・運営団体となり実施しました。

講座の目的は、“地産地消”で地元の復興を応援することです。震災により沿岸部だけでなく内陸部の食にも影響が出ました。製品や設備が破損したり、土地がずれたりと生産に影響がある中、消費が減っているところもあります。その生産現場を応援しようと、地元で環境に配慮しながら作っている酒蔵・株式会社一ノ蔵さんと、ふゆみずたんぼを訪れました。

宮城県北部の大崎市では、冬の田んぼに水を張る「ふゆみずたんぼ」農法が着実に広まっています。冬の間水を張ると、菌類やイトミミズなどの生きものが発生します。その小さな生きものたちの働きにより、田んぼの土壌に抑草効果のある層がつけられたり、さらに害虫を食べるクモやカエルが活躍することで、無農薬・無化学肥料でもお米が取れる田んぼになります。ふゆみずたん

ぼは、大崎市の蕪栗沼に飛来する渡り鳥の大切なえさ場や休息地にもなっています。自然のサイクルを活用した古くて新しい農法なのです。

一ノ蔵さんでは、そのふゆみずたんぼ米や地元のお米、自社で作った無農薬米などからお酒を作っています。多くの工程を人の手で行ない、環境を守りながら作られたお酒を試飲させていただきました。お話を聞いた後のお酒はとても深い味わいがしました。

ふゆみずたんぼで白鳥がエサをついばんでいるところも見学でき、JAみやぎの方や生産者からふゆみずたんぼの苦労と効果を聞くこともできました。

お米を生産している方、その加工販売している方のお話を聞き、実際に目にするすることで、私たち消費者が応援していかななくてはと実感しました。



ふゆみずたんぼに集まる白鳥

公開セミナー「自然と地域の中で生きる新しい農業のかたち～自然農～」

日時：1月21日（土）14：00～16：00
会場：エル・パーク仙台 セミナーホール1
講師：安部信次氏（丸森町／つぶら農園）
三浦隆弘氏（名取市／セリ農家）
参加者：40名

「自然農」という農法をご存じですか？主に無農薬（農薬を使用しない）、不施肥（肥料を与えない）に加え、不耕起（耕さない）、不除草（除草しない）の農法です。化学肥料や農薬の使用に基準がある有機（JAS）栽培や特別栽培、持続性の高い生産方式のエコファーマーのように認定や定義がないため、人それぞれ除草や耕起の考え方も違いますが、より自然の状態に近い農法と言われています。

その自然農を基本とした暮らしを丸森町でしている安部信次さんを招き、自然農を始めるまでの半生や実践している農法についてお話しいただきました。安部さんは大学在学中から農地探しを始め、丸森町で農業を開始、家は貰った廃材などで作り、自分のスタイルでお米や野

菜を作っています。「育てていくのを手伝うだけ」「やりすぎないこと、やらなさすぎないこと」などの何気ない言葉が心に残りました。作物に対する姿勢も、人や物事に対する姿勢も同じなんですね。具体的な栽培方法などについては、畑や作物など実物がなかったため、詳しく解説はできませんでしたが、参加者は自然農の栽培についてもっと知りたい、やってみたいと感じたようです。

三浦隆弘さんには、農家として福祉や他の農家とのネットワーク作りなどさまざまな面から地域とのつながりを活かした取り組みをご紹介いただきました。

宮城では、有機JAS取組農家数は159戸（H22.3/31）、特別栽培は2,477戸（H22年度）、エコファーマーは9,176名（H23.9月末）、これからも徐々に増えていくことを期待して、応援していきたいですね。



多くの方が自然農の農法に興味を持っていました



MELONcafe プチ講座

日時：2月4日(土) 13:30～14:30
「着物をリメイク★貝のおひなさま作り」

今回の講座では着古した着物と帯を「ほっき貝」の殻へ貼り付けた、「貝のおひなさま」作りを行いました。この講座は3月3日の「ひなまつり」に向けて、不要になった着物や帯地を再利用し、ゴミの減量につながることを目的に行いました。この講座は大変人気があり、あっという間に定員に達しました。



着物の生地の一部はMELONcafe企画部のメンバーの子どもが小さい時に着た着物の生地で、汚れが目立っていたためでどうしようか悩んでいたとのこと。ほっき貝は手の甲と同じくらい大きさで、先に顔

と髪を貼り、襟から着物へと貼り付けています。ほっき貝一枚一枚の大きさに合わせて、あらかじめ着物や帯地を切って両面テープを貼り事前に下準備をしたため時間内に終わることができました。ポイントは貝を事前にしっかり洗って乾燥させることと、顔が小さくなるように襟地を貼りつけることです。



参加者ははじめて貝でおひなさまを作り、お互いのおひなさまの出来具合をうれしそうに見比べていました。今回は雌雛しか作ることができませんでしたが、自宅でいらなくなった着物地で雄雛を作ってひな祭りまで楽しんでいただきたいと思います。

MELONcafeではリメイクの講座を通して、ゴミの減量に取り組みたいと思います。

今後のMELONcafe プチ講座

4月7日(土) 13:30～14:30
「米粉でかしわ餅作りとにんじんの浅漬作り」



ラシーヌおじさんとふしぎな動物

「大人はウソつき」

石垣政裕

ほとんどウソに近い奇想天外な物語を、子どもなら本当のことのように信じて、息を詰めどきどきしながら見ているかも知れません。いま、子どもに本を読んでもらったり、お芝居を見せてくれたりしている人の中に、そんな経験をしたと話してくれた人がいます。大人になれば現実を見ながら、そんなひっくり返りそうなウソの物語を楽しむことができます。こんなことには絶対にならないとわかっていながら物語を楽しんだり作ったりできます。だから『大人はウソつきだ』という言葉もここではよるこんでもいいのです。もちろん子どもだって少し大きくなれば物語を楽しむということでは大人と変わりません。

トミー・ウンゲラーの書いた「ラシーヌおじさんと不思議な動物」(たむらりゆいち・あそうくみ 訳、評論社 1977年初版) もなんとヘンな物語です。税金を集める役人だったラシーヌおじさんはヘンな動物を見つけ、なかよしになります。でも、ラシーヌおじさんの見つけたこの

不思議な動物は、市長や軍隊、学者、新聞記者やカメラマンたちを巻き込んで大騒ぎになります。サーカスの支配人から動物園のマネージャーまでそれを手に入れようとラシーヌおじさんを訪れます。さあ、いよいよパリの科学院での発表となったとき、その動物の中から出てきたのは、なんと二人の子どもではありませんか。これまでに、まちは暴動が起きるほどの大騒ぎとなりました。

わからないことをわからないまま、自分たちの「地位」や「仕事」の中だけで解決しようしたり、利用しようしたりする大人たちが実にユーモラスに描かれています。ここには「王様は裸だ」という子どもは登場しません。トミー・ウンゲラーのおもしろいところですよ。

さて、こんなパリの市民をまきこんだ奇想天外な物語を、誰も現実だなんて信じていないでしょう。パリ市民はこんなことでは大騒ぎはしないし、実際の市長さんも学者もちゃんと仕事をしていることは知っているのです。でも、そうだったら面白いだろうなあと思っただけなのです。

福島の子原子力発電所が爆発したとき、「本当のことを知らせると大騒動(『パニック』)が起きるので」というようなことを今ごろになって話している人たちは、本当のことを知らせると「ラシーヌおじさんと不思議な動物」のように大騒ぎになるだろうと思ったのでしょうかね。もし、子どもから大人が変わるとき、絵本から物語と現実の違いに思いをよせ、物語というウソのつき方を知っていれば、あそこで嘘はつかなかっただろうと私はため息をつきます。当時、現実の深刻さの前で、多くの市民・町民が正しい信頼できる情報を冷静に待っていたのですから。



各協同組合からのお知らせ

MELONの協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

「みんなで応援～南三陸町の今を知り、カキの森を育てる植林・交流体験会～」

震災のため実施できなかった2011年度分の苗木を南三陸町「こ～ぶの森神行堂山」に植林し、緑の再生と地域の震災復興を応援します。校舎の宿「さんさん館」に前泊し、南三陸町の被災の状況と自然との関わりを学び、再生可能エネルギーを見学するコースと、当日参加コースがあります。

開催日時：5月13日(日)

(1) 前泊コース

集合：5/12 10時 仙台駅西口大型バス発着所

募集人数：30人(応募多数の場合抽選)

参加費：大人9,000円 中学生7,500円、小学生6,500円、幼児3,000円

(宿泊代・バス代・グリーンツーリズム、体験参加費・5/12夕・5/13朝食代込み)

(2) 当日参加コース

集合：バス乗車 7時30分 仙台駅西口大型バス発着所

現地集合 南三陸町さんさん館 9時30分

参加費：バス乗車 2,000円、現地集合500円(昼食代込み) 中学生以下半額

募集人数：バス乗車 30人、現地集合 特に定めません

申込締め切り4月27日(金)

お申し込みの方は下記まで、ハガキ・FAX・メールに、氏名・連絡先を明記の上、お申し込み下さい。



申し込み・問い合わせ先

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 文化会館ウイズ内 生活文化部くらしの活動事務局

TEL: 022-218-5331 FAX: 022-218-5945 メール: sn.mkankyok@todock.jp



**MELON20周年をめざせ！
50人リレートーク**

第40人目の執筆者

菅原正徳さん
(カワラバン)



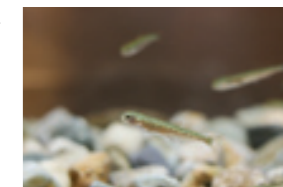
広瀬・名取川は都市河川の中ではまれに見る生物多様性に富んだ川ですが、海と川を行き来する回遊魚であるサケやアユにとっては、必ずしも良い河川環境であるとはいえません。それでも秋になると街の中心部から程近い広瀬川において、シロサケの産卵の光景を目にすることができ、私たちに命のつながりを実感させてくれます。昨秋も相当数のシロサケが遡上したので、その姿に感動した方も多しと思います。

広瀬川に遡上するサケに目を向けることで、川や地域の自然環境について考え、目指すべき河川環境のあり方について多くの市民とともに探っていくことを目的に「広瀬川サケプロジェクト」(主催：広瀬川市民会議)が行われています。その中で私は、市内の小学校や企業、そして市民有志とともに、自宅

でサケの稚魚の飼育に取り組んでいます。

一応、配られた飼育マニュアル通りにやってみましたが、稚魚の元気がなかったり、死んでしまう個体もいたり、育てることの難しさを実感しました。しかし同時に、自然界では人間が手をかけなくても、成長に必要な一連の流れが行われていることに、やっぱり自然ってすごいなあとただただ感心するばかりです。

サケの生死を間近でみることで、様々なことを教えてもらっているので、とにかく一生懸命に育てていきたいと気持ちを新たにしました。



連絡先/カワラバン 菅原 090-9745-3571

… 次号執筆者紹介 …

杉山ふじ子さん
(建築と子供たちネットワーク仙台)



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.54

世界を知ること、自分を知ること～「わたしと世界とオンダンカ」開催～

日時：1月28日（土）10：00～16：00
 内容：第一部 ワークショップ「カタヌキのじかん」
 講師：阿部眞理子氏（国際ボランティアセンター山形）
 第二部 COP17報告会「基礎から学ぶ国際会議」
 講師：平田仁子氏（気候ネットワーク東京事務所長）
 報告：佐藤剛氏（ストップ温暖化センターみやぎ運営委員）
 江刺家由美子（ストップ温暖化センターみやぎリーダー）
 この事業の一部は、財団法人仙台国際交流協会の補助事業により開催しました。

カタヌキは、縁日などで見かける遊び。ピンクの板に動物などの模様を捺されていて、縁を画鋲できれいにくり抜くと景品がもらえます。



「世界」という観点から温暖化を考える講座「わたしと世界とオンダンカ」。第一部では、世界各国の一般家庭の一週間分の食料を並べた写真を見て、どこの国かをグループで意見を出し合って考えました。「アメリカのご飯の量にびっくり！」という小学生も。その一方で十分な食料を手に入れることが困難な国もあり、「当たり前」の毎日が決して「当たり前」ではないことに改めて気づかされます。

第二部では、講師の平田仁子さんにCOPでの論点やCOP17の決定事項についてお話していただきました。他国の代表との会話など臨場感溢れるエピソードを交えたわかり

やすい講演です。平田さんのお話の一部をご紹介します。

■**そもそもCOPってどんな会議でどんな人が参加しているの？**
 COPは世界の温暖化対策のあり方を話し合う政府間の国際交渉の場です。よりよい合意のため、NGOや研究者、学生も参加します。

■**どんなことが話し合われているの？**
 先進国による温室効果ガスの削減義務について、そして途上国についてはどんな削減行動をどう支援するかを話し合います。また、地球温暖化の影響への適応の議論は、近年重要性が増してきました。さらにこれらの取り組みを実施するための資金をどのように調達・運用するかという議論もあります。

■**COP17では何が決まったの？**
 2012年で第一約束期間が終わる京都議定書を2013年以降も続けていく（第二約束期間）と決まりました。第一約束期間は5年間でしたが、第二約束期間の終了年はまだ決定していません。そして現在の京都議定書では先進国のみを温室効果ガス削減義務の対象としていますが、全ての国を含む約束を2020年以降に発効すると決まりました。

■**日本はどのような立場？**
 日本は第二約束期間への参加を拒否し、2020年までは削減義務を負わないことになりました。これにより国際交渉力の低下や国内対策の遅れを招くことが考えられます。

■**NGOはどう関わっている？**
 国際的なNGOネットワーク「CAN」は会議の動向を追い、情報発信を行っています。このほか、若い世代も交渉会議の場に参加し、「あなた方は2050年に何歳ですか？」と訴え、高い目標とアクションを伴った合意を求めています。

詳しくはストップ温暖化センターみやぎウェブサイトでご紹介していますので、ぜひご覧ください！



写真を見ながら他国の暮らしを考えます



平田仁子氏

推進員だより No.3

快適に過ごせる方法を広めたい

菊地ひろ子さん、千葉清幸さん

気仙沼を中心に活動しているグループ「青空エコカフェ」。10月～12月にかけて「みやぎ節電プロジェクト2011」とともに「冬をあたたかく過ごそう 地球にもやさしく」と題した勉強会を4回行いました。「結露は断熱が関係しているの？」など質問もあり参加者の方々は関心が高く、また三陸新聞に掲載されるなど取り組みが広がっています。さらに、勉強会の資料は気仙沼市の協力のもとまとめられ、すべての仮設住宅へ配布されました（約3400部）。仮設住宅の皆さんは資料を参考にしながら、それぞれ工夫しているそうです。菊地さんは「知恵を絞って快適に過ごせる方法を広めていきたい。活動が広がっていくことは大変うれしい。」とのこと。2月にも2回勉強会が開催され、今後もカンタンで楽しくできる取り組みの紹介を続けていきます。



菊地ひろ子さん



千葉清幸さん

ウォームビズウェブサイト「今日からはじめる あたたがいくらし」

今年度ストップ温暖化センターではウォームビズに関するウェブサイトの中で、住宅の断熱についてのページを掲載しています。普段なかなか聞くことがない住宅の断熱について、座談会形式で一級建築士の安井妙子氏がお話していただきました！例えば「一部屋だけをリフォームした施工例もありますが、部屋間の温度差が大きくなり、あたたかい部屋を一步出ると廊下は寒い…となるので、必ず皆さん“宝くじが当たったら全部リフォームしたい！”と言いますよ。」「断熱をして寒さを解消することは、エネルギー消費を減らすだけでなく、健康面から考えても、快適に暮らすために欠かせない要素です。」など分かりやすいお話が満載です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



原町の家

3R・低炭素社会検定試験を実施しました！

1月8日（日）仙台市情報・産業プラザにて「3R・低炭素社会検定」試験を実施しました！これは、持続可能な社会をめざして、ベースとなる知識の共有と知識を持った人のつながりづくりのために、「3R」と「低炭素」の2つのテーマの検定試験を行うものです。

京都大学を中心として全国のNPOや企業、行政などで組織した実行委員会が開催しており、MELONもこの検定のサポートをしています。

全国で行われている「〇〇検定」という試験にはクイズ的なものが多いのですが、この「3R・低炭素社会検定」は環境問題の正しい知識を問う内容となっており、環境の勉強にも有効な試験だと思えます。合格率は毎年75～80%ほど。今年の実験者数は全国では400名弱と

なりましたが、宮城県は15名でまだまだ知名度も低い状況です。でも逆に言えば宮城で本検定をとれば今なら先駆者的存在です。

来年の試験日程は未定ですが、環境知識の向上のためにぜひ受験してみてください。



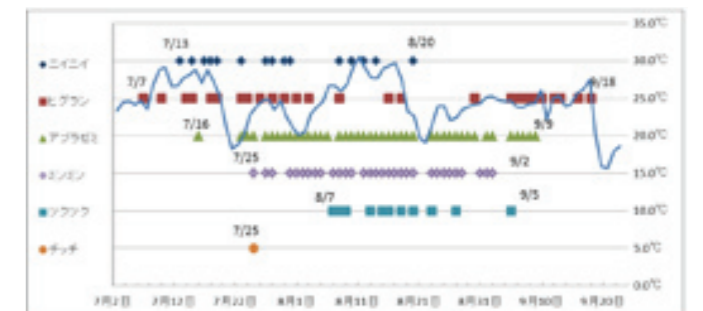
MELON生き物調査「セミのなき声調査」レポート

昨年7月～10月にMELONみやぎ里山応援団が初めて実施した生き物の調査「セミのなき声調査」。セミは時期や周辺の環境によって、生息するセミの種類が異なります。また、セミのなき声は種類によって特徴的。たとえば姿が確認できなくても、道を歩いている時や車で通りすぎた時でも、大きななき声でどのセミがいるか分かります。

昨年は140超の報告が集まり、結果はグラフの通りで、鳴いている期間と気温の変化には関連性がありそうです。残念ながら、地域ごとのレポート数がまだ少ないため、地域での傾向は読み取ることはできませんので、来年はもっと多く集めたいです。

セミのなき声調査は今年の夏も行います！調査レポー

トの方法などさらに改良を加え、参加しやすい形になりますので、ぜひみなさん今年の夏はご協力よろしくお願いします。



仙台市の平均気温とセミのなき声確認期間

97号の投稿テーマ

「あなたはどっち派?? 電気 or ガス or その他」

電気派
煮物やカレーなど炊飯器で作ります。朝、セットして仕事へ。夕方アツアツできてます!
P.N. けろちゃん

ガス派
今はとにかく電気のイメージが悪い。それを見て裏でガツポーズをしているだろうことを差し引いてもガスの方がいい。
P.N.

ガス派
仕組みや製造がガスの方がシンプルな気がする。電気は供給されないと使えないので、震災の時に困った。オール電化が進んでも、ガスは必要。
P.N. アキコ

ガス派
料理をするなら、火力の強いガス!
P.N. T.T

今回はガス派の投稿の方が多く寄せられました。まだガスの方がなじみ深いのかもかもしれませんね。電気もガスも合った使い方が必要ですね。

投稿募集



98号テーマ

「私から リオ+20 へのメッセージ」

2ページでも触れましたが、今日に至る地球環境の保護に大きな影響を与えた1992年の国連環境開発会議（地球サミット）から今年で20年。再びリオで「持続可能な開発会議」が開催されます。グリーン・エコノミーなどについて話し合われる国際会議、みなさんからの要望や思いなどメッセージをお待ちしています!

特典

特典投稿が採用された方には、「500円分のMELON協力COOP商品券」をプレゼント♪（みやぎ生協の各店舗および宮城県内の日専連加盟店で使えます。）



投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にてMELONへお寄せください。

ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。



■締め切り：5月10日（木）

編集後記

- 今年の冬は、ここ数年ない厳しい寒さです。ウォームビズ商品を購入して、防寒対策をしています。いつも以上に春を待ち遠しく思います。（三浦）
- 毎年、暖房は「こたつ」だけですが、この冬は寒くて、ひさしぶりに1ヶ月ほどエアコンを使ってしまいました。まさに気候変動って感じですね。（小林）
- 我が家で、近所の方と一緒に「うちエコ診断」を受診、「まだまだ改善の余地あり」の結果に納得しながら今年の節エネ目標を検討中です。（木城）
- 今月でMELONを退職します。振り返ると他ではできない貴重な経験や出会いばかりで、改めて感謝の気持ちが湧いてきます。皆様ありがとうございました。（江刺家）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

3/3 (土)	水部会 例会 MELONcafe プチ講座 「桜もち&いちご大福作り」
3/5 (月)	食部会 例会
3/8 (木)	自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
3/9 (金)	4R推進部会 例会
3/19 (月)	企業交流部会 例会
3/24 (土)	まちなか eco マルシェ 出店
3/31 (土)	「親子でエコ・クッキング ～進級入学のお祝い・お弁当に～」開催
4/7 (土)	MELONcafe プチ講座 「かしわ餅&にんじんの浅漬け作り」
4/28 (土)	まちなか eco マルシェ 出店

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催場合があります。ご了承ください。

お知らせ

MELONは、2008年12月に改正された公益法人制度に関する新制度に基づき、宮城県から公益認定を受け、2012年2月1日に公益財団法人として登記いたしました。今後は、「公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク」となります。

これまで以上に公益性のある環境活動に努めてまいりますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

会員状況

986名

- 法人 96
- 任意団体 17
- 個人 873

2012年2月10日現在

ボランティアポイントカードをご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まるとMELON協力商品券(1,000円分)と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



MELON 協力商品券を利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部がMELONに寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。